

都立初の通年アイスリンク施設として、東京都における氷上スポーツの普及振興を図り、「スポーツフィールド東京」の実現に貢献します。



2 施設の提供（運営方針、休館日・開場時間・利用調整・利用料金）・運営・競技団体との連携・施設内サービス

施策・方針に沿った施設の提供 ○大規模大会実施に向けた最適な施設提供及び練習環境の充実による競技力向上への貢献 ○誰もが日頃から安心して利用でき、快適に氷上スポーツに親しめる場を提供 ○興行誘致等、収益及び施設稼働率の向上による効果的・効率的な施設提供	安全、安心、快適な施設の提供 ○子供から高齢者、障害者、初心者から上級者、それぞれに合わせたコースの整備、エリアの区分け等、きめ細やかな施設運営 ○利用者の安全安心を第一とした徹底した監視体制 ○職員によるスケート靴の履き方のレクチャーや、怪我防止のためのヘルメット、プロテクター類の無料貸し出しを推進 ○大会主催者と密に連携を図り、利用者・観客が安全・安心・快適に利用できる環境を整備	氷上スポーツの振興拠点として、競技団体と連携した裾野拡大 ○競技の普及・育成合宿等については優先的に受付調整を実施し、施設の提供に協力 ○競技団体とのヒアリングや連絡会の実施により、寄り添った支援を実施 ○大会開催の事前周知、集客についても、館内掲示やホームページ、SNS等を使用した、積極的な支援体制を整備
利用者のニーズを踏まえた休館日の設置 ○施設条例施行規則を原則とし、競技大会等の使用希望や利用者ニーズに対応した休館日を設定 ○競技大会、興行利用時のフレキシブルな対応	多様な利用者ニーズに応える効率的なアイスリンク運営 ○国際大会が開催可能なメインリンクを、存分に滑走できる場として開放 ○メインリンクにジャンプ、スピン可能エリア（時間限定）を設定し、上級者の練習場所として満足できる環境を提供 ○一般滑走と初心者教室などを同時に行うことで効率的なリンク運営を実施 ○貸出備品（ダブルブレードシューズ、貸ソリ各種等）を豊富に揃え、適切な管理を実施	ワンストップでの受付対応とあらゆる利用者を想定した柔軟な対応 ○利用目的に合わせて利用者導線を明確にし、ワンストップでの受付を実施 ○職員はインカムを装着し、効率的にサービスやインフォメーションを提供 ○インクルーシブ社会の実現に向けた多様性を尊重した対応 ○施設や事業の案内、利用者の相談などに対し、柔軟な対応を実施
氷上スポーツの拠点として、多種多様な活動の利用を促進する受付・調整 ○条例及び管理基準に準じた公平かつ公正な利用調整の実施 ○利用形態に応じて、公平性や公益性に配慮した調整、受付を実施 ○5つのレスに対応した承認プロセスのデジタル化によるDX推進 ○券元機による取り扱いを基本とし、簡易でストレスフリーな手続きを推進	管理基準に基づいたアイスリンク場内の安全管理 ○公共アイスリンクの運営経験やノウハウを活用した安全管理体制を整備 ○職員の常時巡回により、安全に滑走できる環境を整備 ○ルール の 掲 示 や 職 員 か ら の 声 かけ、及び場内放送による注意喚起を実施 ○整氷作業の際は事前に場内放送で周知し、リンク内の安全を確保	通年アイスリンクの運営実績に基づく細やかなサービス ○経験豊富で施設や設備を熟知した職員が総力を挙げてサポートを実施 ○大会主催者との窓口を担当者に一本化し、問合せや要望を一元化 ○設備・備品等の保守・点検、災害や事故等発生時における危機管理体制を整備
目的・用途に応じた多様な利用料金	大会の成功に向けた競技団体と連携した事前確認と調整 ○大会主催者との頻繁な打合せ機会と視察対応による信頼関係の構築 ○大会主催者に向けた、観客動線や選手の待機場所の設定、主催者側の係員の配慮ポイント、各種法令の遵守などの適切な助言・対応を実施	利用者の声を尊重した施設運営 ○利用者からの声を貴重なご意見として真摯に受け止め、速やかに対応 ○条例・施行規則や、利用者の安全に問題が無いかなどを十分に考慮し、公平・公正できめ細やかな対応を実施 ○利用者との日常的なコミュニケーションの大切さを職員に周知徹底し、サービス向上に努める

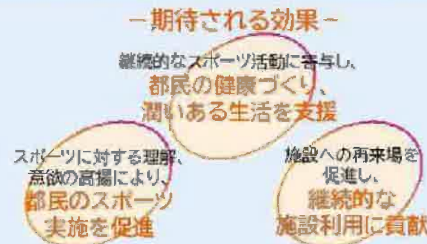
3 スポーツの普及振興、利用者へのサービス向上等の事業に関する業務

【スポーツ振興事業】都民のスポーツ実施率 70%の達成を目指した事業の推進

- 「各種目体験会」を積極的に実施、「誰もが楽しめる」施設・種目を都民に発信
- 「する」スポーツだけでなく「みる・支える」スポーツの機会を広く周知
- 各カテゴリーの使い易さを考慮した時間帯・リンクの提供
- 指導者を担う人や競技志向者などを対象とした「講習会・研修会」の実施

【スポーツの日】スポーツへの関心・意欲を高め、継続に寄与する事業を展開

- トップアスリートに触れる機会を提供し、「みる」スポーツを通じて来場促進に寄与
- 水上スポーツの体験プログラムを実施し、スポーツへの意欲を促進
- アイスリンク（メインリンク、サブリンク）を無料開放、再来場及び施設利用を促進



【開業イベント事業】施設開業の周知とウインタースポーツの魅力を発信

- アスリートによる複数種目のデモンストレーションを展開
- スポーツ体験教室をメインリンク及びサブリンクで提供
- 多目的室等を活用し、レクリエーション種目の体験プログラムを実施
- 東京 2020 大会のレガシーとして、パネルや関連資料等の展示
- 第 25 回夏季デフリンピック競技大会の気運醸成に向けて PR 出展
- 施設の屋外スペースにはキッチンカーを複数台設置し、お祭り気分を促進

【自主事業】多様なニーズを喚起し、生涯スポーツの裾野を拡大

- 新たなニーズを掘り起こし、生涯スポーツの提供とスポーツ実施率 70%の達成に寄与
- 水上スポーツ種目を中心に、新たなスポーツ種目実施の機会を提供
- 初心者がスポーツを継続できる体制の構築
- 個々のニーズ目的に合わせた、パーソナル指導を提供
- 多様な対象に対して多種多様な教室を実施

【周辺事業連携】地域と連携し、地域の魅力向上・活性化を図る

- 隣接公園や他施設と連携したイベントを実施
- 地元小中学校等と連携し、スケートを体験する校外学習の受入を行い、氷上スポーツの裾野拡大を図る
- 職場体験や社会科見学等の受け入れなど、教育活動への積極的な協力推進
- 地域清掃を兼ねた地域クリーンウォーキングを実施、地域及び参加者間の交流を促進
- 無料シャトルバスの運行



【利用者に対するサービス提供事業】施設の付加価値を高める環境づくり

- 個人利用者に向けたレンタル用具の貸出
- プライベートロッカーを設置
- リンクサイドに専用利用をする団体向けの倉庫を設置
- スポーツセレクトショップの運営
- 校外学習等への指導員紹介

【広報】Web サイトをメインツールとした発信力強化

- 本施設独自に、Web アクセシビリティに配慮した Web サイトを開設し、利用者に訴求する情報を掲載
- SNS で大会などのイベント情報や各種事業の案内、氷上スポーツの興味を引く情報を発信
- 近隣小中学校へのチラシ配布による情報発信及び周辺地域や団体との相互連携を実施し、地域振興に貢献



【業務の品質管理】効果的な対応及び継続的な業務改善

- 多種多様な方法で利用者等の声を広く収集
- 周辺施設や他の都立スポーツ施設との 18 施設連携会議等での情報の共有により、サービス品質の向上を図る

【都立スポーツ施設ネットワーク】18 施設のネットワークに係る取組に積極的に参画

■18 施設のネットワークで施設のポテンシャルを最大限に発揮

- 都立 18 施設掲載の Web サイト「SLOPOPITA」を活用推進し、情報発信を強化
- 「臨海スポーツエリア」における周辺施設と連携し、デジタルサイネージやパネル展示など、相互に情報発信

■都立スポーツ施設連携促進事業への積極的な協力

- 「TOKYO スポーツコンシェルジュ」事業に最大限協力
- 18 施設と一体的な情報発信を実施し、施設 PR の推進により、施設利用の拡充に繋げる
- 各施設に共通する意見及び要望などの情報共有を率先して実施し、18 施設全体のニーズ対応力の強化を図る
- 大規模な大会・イベントの開催により臨海エリアの活力創出、東京の魅力向上に繋げる



WEB サイト「SLOPOPITA」



氷上イベントイメージ

4 組織及び人材

業務ごとに専門性の高い職員を配置し効果的・効率的な施設運営

- 施設の管理運営全体の統括責任者である施設長をトップに、多様化するニーズに対応できる強固な組織体制を整備

職員の適切な勤務体制の構築と、柔軟な人員配置による業務品質の確保

- 職員の適切な配置管理と充実した教育研修を通じ、高品質なサービスを提供する人材を育成

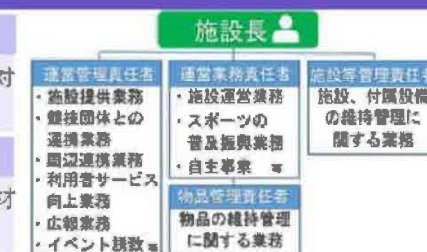
5 施設の維持管理その他管理運営に関する業務

着実かつ計画な維持管理業務の遂行により、良好な状態での施設、物品を提供

- 法令等を踏まえた着実かつ効率的な保全業務の実施
- 予防保全の観点に立ち、建物の長寿命化、ライフサイクルコストの削減を図る

様々なリスクを想定し、迅速かつ適切に対応できる体制を整備

- 想定される人為的な事件や設備不良による事故等から、大規模災害まで、被害の最小化や未然の防止に向けた各種取組を推進



6 収支計画

全国 200 以上のスポーツ施設管理運営実績を活かした経営

○経験豊富な多様な社員による安全最重視の運営管理

- ・
- ・
- ・職員全員が救急救命の研修を修了し、救急時の体制を整備

○ライフサイクルコストの削減

- ・本施設には従来設備等があることを認識し、
- ・施設設備の日常巡回点検を職員もを行い、施設設備不具合への早期対応で設備の長寿命化を促進
- ・年間 (R8 年以降) の修繕費を予算化し、不具合への早期対応・修繕を徹底

○売上の最大化への計画

- ・開業イベントを皮切りに、広告計画に則り利用者の誘致を推進し、オンシーズンの集客を増強
- ・オフシーズンの利用者獲得のため、自主事業の教室やイベントの告知を促進
- ・「興行主催者」の団体、「大会・競技会」主催の各連盟等と連携して、5 興行・20 大会の開催を実現
- ・各競技団体（連盟）と連携して、専用利用枠を多くの団体・チームに利用促進

○赤字収支や想定以上の黒字発生時

- ・年度収支における赤字の発生は当社内で消化。想定（収入合計額の 10%）以上の黒字が発生した場合は、施設・設備・備品等への支出や次年度指定管理料を減額